決議書を議決しました

（要　旨）
倶知安町議会の意思を表明するものです。

飲酒運転根絶を宣言する決議

交通事故のない安全で安心して暮らせる社会の実現は、国民すべての切実な願いである。
倶知安町議会は、道をはじめ、各市町村、各関係機関や団体との連携を強化し、町民一丸となって飲酒運転の根絶に取り組むことを宣言する。

セーフティーコールにて

意見書を提出しました

（要　旨）
議決された意見書は関係機関に送付しました。

高等教育段階における学生等への経済的支援の充実を求める意見書

高校生を対象とした給付型奨学金制度を拡充するとともに、大学生等を対象とした授業料減免制度の拡充や給付型奨学金制度の早期創設を図ること。

子ども医療費助成に係る国保の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書

全ての子どもを対象とした医療費助成が制度化されるまでの間、地方自治体が行う子どもの医療費助成に係る国保の国庫負担減額調整措置を廃止するよう強く要望する。

私立専修学校等における専門的職業人材の育成機能の強化等を求める意見書

平成26年から開始された「職業実践専門課程」認定制度を着実に推進するとともに、確実に本年中に所要の制度上の措置を講ずること。

診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書

①診療報酬の引き下げは行わないこと。
②公立病院の運営に対する地方財政措置の充実・確保を図ること。
③地域の医療需要を満たす医療提供体制を構築すること。

森林吸収源の財源確保を求める意見書

①安定した財源の充実・強化のための制度を速やかに構築すること。
②平成28年度当初予算及び補正予算において、森林整備・木材利用等の推進のための予算を十分に確保すること。

児童虐待防止対策の抜本強化を求める意見書

「子育て世代包括支援センター」を法定化し、全国展開を図ること。養育支援訪問事業や、ホームスタート（家庭訪問型子育て支援）事業を全ての自治体で実施できるようにすること。

地方公会計の整備促進に係る意見書

統一的基準による財務書類を早期に作成するため固定資産台帳を整備する必要があるが、団体の財政力に応じた適切な財政措置を講じること。

町民の広場

早川　貴士さん（36歳）

観光の町に生きる

私は中学生の頃より倶知安にて父の代から20数年間、ニセコひらふ地区で宿泊業を営んでいます。
私が感じる、観光産業の問題として、昔から官民一体になれない体制への要望などをお話したいと思います。
皆様もご承知の通り、倶知安はここ10年余りで急速に国際観光都市へと変貌しました。
ウインターシーズンにはスキー場エリアだけではなく、町内全域に国内外から大勢の観光客やそれに伴い従業員が押し寄せます。
グリーンシーズンには高原である涼しい気候を生かし長期滞在をされるご年配や富裕層の方、またサッカー・ラグビーを始めとする各種スポーツ合宿や大会に沢山の青少年たちが訪れています。
これら全ては行政主導の誘致によらず、先人・外国人の民間事業者の方々の努力によって今日に至っています。
私はこれから観光事業者はもとより、民間異業種の方、そして自治体の連携をもって、早急に対処を求められている問題に取り組むべきと考えます。例をあげると、
・スキー場エリア内や市街地を結ぶ2次交通の充実（他国内スキー場と比べても運行数の少なさや有料への不満）
・グリーンシーズンで多様される町営グラウンドの状態の悪さ（他町村では行政を挙げて整備し誘致し始めています）
・治安の悪化、ゴミ問題
・季節従業員の把握とルールの周知など
他にも多数問題は山積みしています。
民間のみでの解決は難しく、自治体も積極的に関わり地域が垣根を超えて一丸となって努力することが、ひいては町の発展に繋がると思います。
そのために議会では、もっとこうした問題を積極的に取り上げて頂きたいと思います。
（全文のまま）